

# 会員寄稿

## 平成22年度 こうよう会本部主催行事が 四国（香川県高松市）で開催されました

こうよう会副会長（関東地域）  
田中 正憲



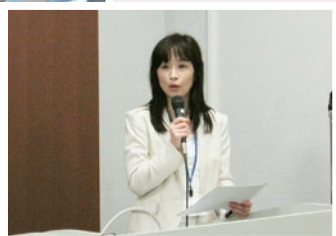
本年度のこうよう会本部主催行事の第1弾として、大学の所在する首都圏を離れ、東京理科大学にもゆかりのある「坊っちゃん」の赴任先である四国、その四国の玄関口である香川県高松市において、10月24日（日）、講演会が開催され、こうよう会から57名の会員、理窓会から11名の役員、大学から7名の職員、合計75名が出席しました。

会場となった「サンポートホール高松」は高松港に臨む好立地の場所で、眼下に見下ろす眺望は瀬戸内海や屋島、船が行き交う男木島、女木島が目の前に望める風光明媚な場所でした。大学事務局の協力の下、事前準備は本部の役員が中心となり、当日の運営は現地の支部役員と力を合わせて行いました。

倉橋副会長（中国四国地域）の司会で行事はスタート。船木こうよう会会長、山田理窓会会長がそれぞれ挨拶され、ともに「学生の父母と卒業生それぞれで協力して、理科大の発展に寄与していきたい」旨、お話されました。



倉橋 祥子 副会長



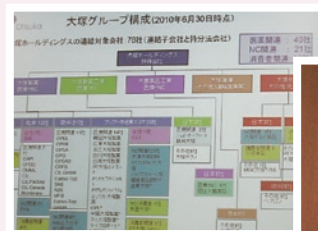
馬場 錬成 先生



今回の講演会には、東京理科大学知財専門職大学院の馬場錬成先生と、企業から隣県の徳島県に主力工場を持つ（株）大塚製薬工場専務取締役で東京理科大学卒業の梶原 巡氏のお二人を講師としてお迎えし、2時間余りの熱のこもったご講演をいただきました。

馬場錬成先生からは、物理学校の創始者たちが理学の普及のため、学校の維持発展に対し、幾多の苦難を乗り越えるべく叡智を傾け、いかに努力・協力しあったかなどの歴史と、また、先生のご専門である知的財産に触れ、東アジアとりわけ中国における技術革新の目覚しさと、それらが今日の経済発展に繋がったかなどの内容を身近な問題を事例にとりながらお話いただきました。

講演の最後には、現代社会で必要とされる人物とは、「強い者・賢い者が残れるものではなく、変化に対応できる者が生き残れる」と結ばれました。



梶原 巡 氏



続いての梶原専務様は、日本を代表する製薬企業である大塚グループにおける国際担当の役員として、1年のほぼ半年は海外を舞台に活躍されている日常と入社後これまでの体験談や苦労話を語っていただきました。同氏は、役員として超多忙な毎日を過ごされている中を今回

の講演会のために貴重なお時間を割いてご講演いただきました。

冒頭、大学の思い出として、鹿児島の水産高校を卒業後、東京理科大学理学部物理学科に入学された経緯と水産高校からの入学であったため、特に「物理」の授業には相当苦労され、克服するため人一倍勉強されたことや、勉学の傍ら弓道部の主将を務めるなど、持ち前の真摯な生き方とチャレンジ精神により、文武両道を成し遂げた体験と理科大で学べたこと誇りに思っていることを熱く話されました。

また、卒業後、大塚製薬(株)に営業職として勤め、東京で大学病院を担当し、医薬品の販売に従事されたことや、1980年には、売れ筋商品であるポカリスエットが発売され、社内の新製品発表会の時、二日酔いの状態でゴクゴク飲んだら、全員がびっくりしていた、それほど、最初はまずく感じていたということなど、開発にまつわるエピソードや裏話を時にユーモアを交えながら話され、会場は笑いが絶えない和やかな雰囲気になりました。

最後に、学生に望むことは「語学力、知識を磨く態度を大切に、(人生)一生勉強である」こと、また、本をたくさん読みましょう、会社はいろいろなチャンスを与えてくれるからそれに対応する力を養うために、と結ばれました。

両氏の講演により、日本の現状に即したタイムリーなお話が、豊富な資料と経験を通じて語られたことに、参加者は感慨深い思いで惜しめない拍手をおくり閉会となりました。



「アリス・イン・高松」に会場を移して懇親会が催され、講演いただいた講師の方々、理窓会の方々、こうよう会からの参加者が一同に会し、また、理科大の理学部出身でアーティストの祥子さんの歌声に聴き入り、情報交換と親睦を深めました。

最後に本部主催行事開催に際し、特別に四国地域のこうよう会支部役員の皆さま、理窓会の皆さまにお世話になりました。誌面をお借りし、厚く感謝申し上げます。

## ◆ご参加いただいた方の感想

### ○徳島県支部／遠所さん

お二方の講演を聞いてとても勉強になりました。馬場先生のお話では、変化に対応できる者が生き残るということで、それがとても印象に残っています。梶原専務のお話では、語学を身につけなければならないということでした。最低でも英語、できれば中国語と、子どもにも語学を習得させなければ、と痛感しました。

懇親会では皆さんとお話ができ、とても良い場を設けていただいたと思っております。どうもありがとうございました。

### ○愛媛県支部／大岡さん

今日は大変勉強になりました。現在、息子が基礎工学部材料工学科に在籍しております。その息子を大塚製薬に入社させていただきたい、つい、そのような気持ちになってしまう梶原専務のお話でした。ありがとうございました。

### ○愛媛県支部／山岡さん

大塚製薬の梶原専務からは、将来子どもたちにとってとても大切だと思えることを聞かせていただきました。これは子どもたちだけでなく、親である私たちにも大変ためになることであったと思います。

### ○愛媛県支部／山本さん

ありがとうございました。講演もとても楽しく、来月には愛媛県支部もこのような行事を実施します。企画内容は素晴らしいものであると自負しております。少しでも多くの会員の皆さまに集まっていたいただきたいものの、何か良いアイデアはないか思案しているところでした。支部行事の成功のため、今回の行事で得たものをノウハウとして取り入れたいと思います。

